

令和6年度

板橋区環境白書 (概要版)



板橋区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

板橋区環境基本計画2025について

区では2016（平成28）年度を始期とする「板橋区環境基本計画2025」を策定し、概ね10年後のめざすべき環境の姿を「人と緑を未来へつなぐスマートシティ“エコポリス板橋”」として取組を進めています。緑と水やきれいな空気に囲まれ、生物の多様性が保全されるなど自然環境と共生するとともに、スマートシティに向けてICTなど最先端の技術など取り入れ、脱炭素社会を実現するまちづくりや、地域全体が連携した活動をもとに資源循環型社会の実現を目指しています。

この環境像の実現のため、個別分野ごとの環境課題に対応した6つの基本目標を設定し、それらの進捗を計る指標によって成果を確認しております。2023（令和5）年度の主な成果については以下のとおりです。

基本目標 1 脱炭素社会の実現



「区内温室効果ガス排出量」は、基準年度の2013（平成25）年度から順調に減少傾向で推移していましたが、社会全体でコロナ禍からの経済活動の回復により増加となった背景を受け、2020（令和2）年度と比べて増加となっています。

区民生活では、「いたばし環境アクションポイント事業」の実施により、省エネ行動の定着が進みつつあります。また、区施設への再生可能エネルギー100%電力の導入、LED街灯への更新も計画的に進めており、CO₂排出量やエネルギー使用量の削減を推進していきます。

【区の実践紹介】

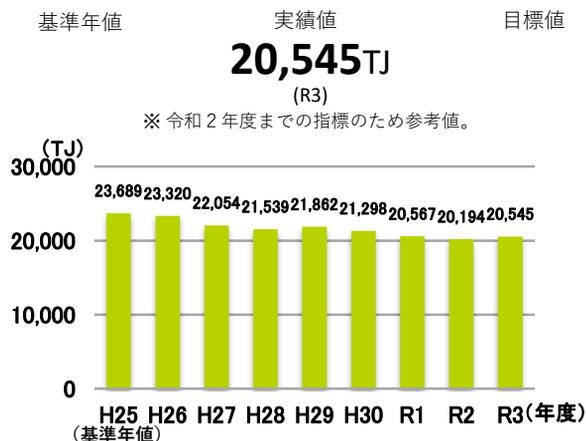


◀ 宅配ボックス導入助成事業

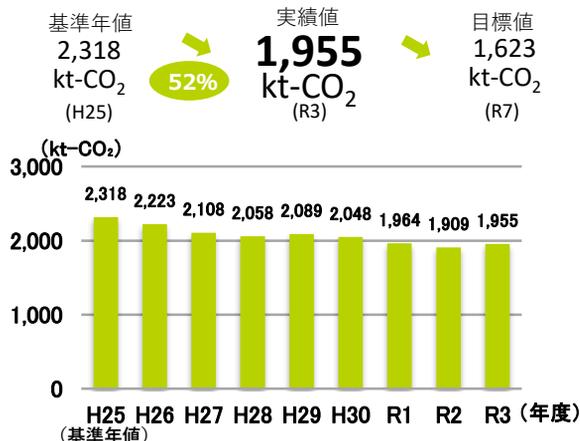


◀ いたばし環境アクションポイント事業

区内エネルギー消費量



区内温室効果ガス排出量



関連する計画：板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025

基本目標 2 循環型社会の実現



「区民一人当たりの一日のごみ排出量」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2020（令和2）年度に一時増加したものの、2021（令和3）年度以降は減少し、目標値である598gを達成することができました。一方、資源の回収量も減少しているため、「リサイクル率」はほぼ横ばいで推移しています。

区は、フードドライブをはじめとする食品ロス削減に向けた取組に加え、2024（令和6）年4月からプラスチックを資源として回収する取組を始めました。ごみの発生を抑制して、資源を有効に再利用する循環型都市をめざし、さらなるごみの減量とリサイクル率の向上を図っていきます。

【区取組紹介】



◀食品ロス削減に向けて
フードドライブの常設窓口を
地域センター（全18か所）に
設置しています

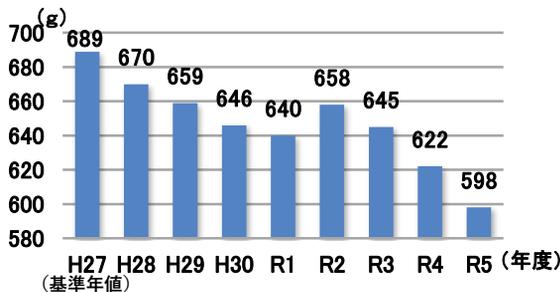


◀いたばしみんなの食べきり
チャレンジ運動



区民一人当たりの一日のごみ排出量

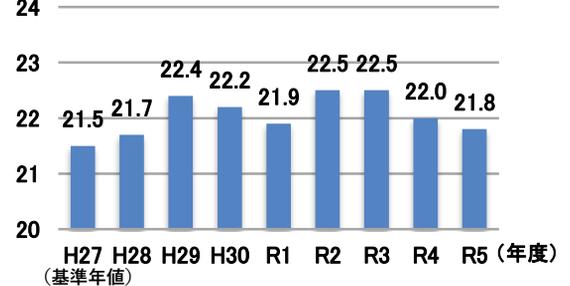
基準年値 689g (H27) **100%** 実績値 598g (R5) 目標値 598g (R7)



関連する計画：板橋区一般廃棄物処理基本計画2025

リサイクル率

基準年値 21.5% (H27) **4%** 実績値 21.8% (R5) 目標値 28.0% (R7)



基本目標 3 自然環境と生物多様性の保全



「公園率」は、2022（令和4）年度から変化はありませんが、都市部の貴重な緑の資源として、広大な河川敷を有する荒川や身近な憩いを与える石神井川などの水の資源とともに、保全に努めています。2023（令和5）年度は、河川や池の水質汚濁の状況などについて分析調査を行ったところ、「石神井川におけるBOD75%値」が増加していますが、天候による影響や上流調整池からの放水による影響が由来するものと捉えられます。引き続き、区の豊かな自然環境と生物多様性の保全に努めていきます。

【区取組紹介】



◀河川の生物調査
石神井川・白子川では生物
調査を実施しています。

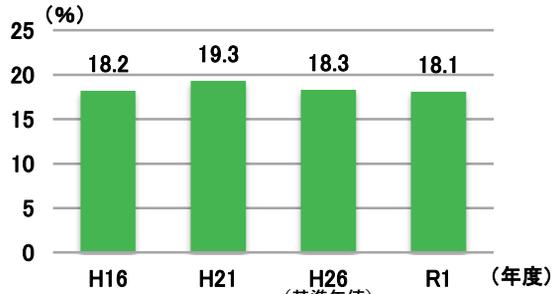


◀熱帯環境植物館
東南アジアの熱帯雨林を
再現した施設です。



区全体の植生被覆率

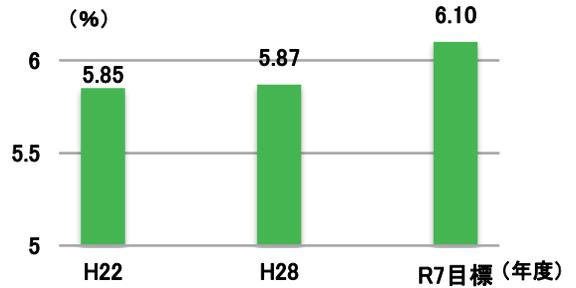
基準年値	実績値	目標値
18.3%	—	21.0%
(H26)		(R7)



※調査は5年に1度（前は2019（令和元）年度に実施）

公園率

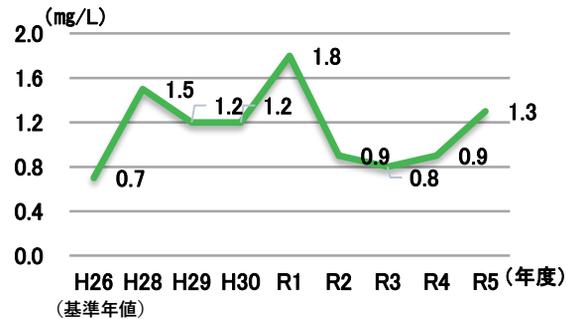
基準年値	実績値	目標値
5.9%	5.9%	6.1%
(H26)	(R5)	(R7)



関連する計画：いたばしグリーンプラン2025

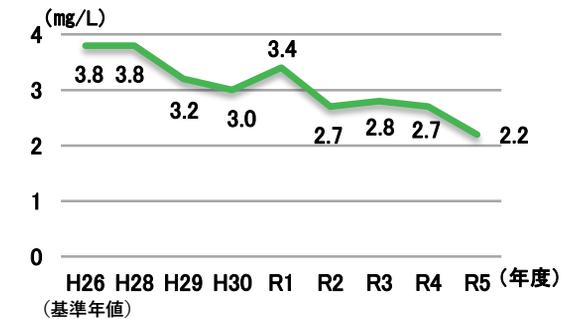
石神井川におけるBOD75%値

基準年値	実績値	目標値
0.7mg/L	1.3mg/L	1.0mg/L以下
(H26)	(R5)	(R7)



白子川におけるBOD75%値

基準年値	実績値	目標値
3.8mg/L	2.2mg/L	2.0mg/L以下
(H26)	(R5)	(R7)



基本目標 4 快適で健康に暮らせる生活環境の実現



「PM2.5の基準値Bレベル以上の日数」は、0日である年が継続しており、大気は良好な状態となっています。また、区内の道路交通による騒音は、幹線道路の騒音を定期的に測定し、道路周辺の建物に対する道路騒音の影響を評価することにより把握しており、「騒音に係る環境基準の達成率」は、概ね横ばいで推移しています。

今後も、大気汚染や騒音等の対策の取組を進め、良好な生活環境を維持することで、区民生活等の基盤を支え、快適で健康に暮らせる生活環境の実現をめざしていきます。

【区】の取組紹介



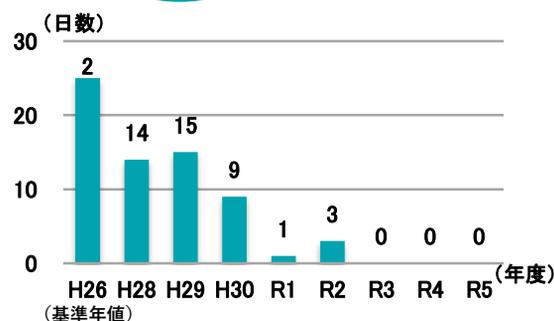
◀ 微小粒子状物（PM2.5）による大気汚染について



◀ 自動車公害に関する取組

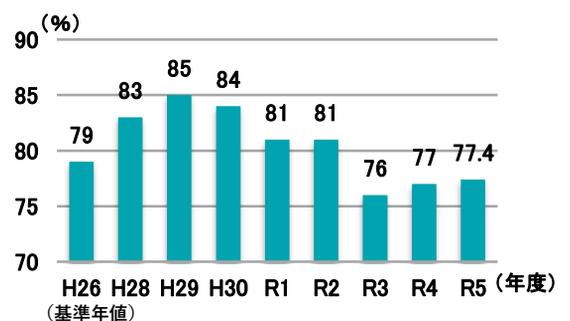
PM2.5の基準値Bレベル以上の日数

基準年値	実績値	目標値
25日	0日	23日
(H26)	(R5)	(R7)



騒音に係る環境基準の達成率

基準年値	実績値	目標値
79%	77.4%	85%
(H26)	(R5)	(R7)



基本目標5 「環境力」の高い人材の育成



環境教育・環境学習等の拠点施設であるエコポリスセンターを中心に、環境関連の講座やイベント、学校や地域へ訪問し実施する出前講座などを展開してきました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020（令和2）年度～2021（令和3）年度に、環境講座参加者数等が大きく減少したものの、徐々に以前の水準に戻りつつあります。

学校などの教育現場では、ESD*の考え方を重視し、区が独自に開発した保幼小中一貫環境教育カリキュラムに基づき、保幼小中一貫型の環境学習を推進しています。また、区独自の情報や特性を踏まえて開発した「環境教育プログラム」は、広く教育現場で活用されており、2023（令和5）年度は区立学校園の83.8%が実施しました。引き続き、「環境力」の高い人材育成をテーマとした環境講座の実施や、イベントの開催など環境にふれ合う機会を提供いたします。

※ Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育

【区の取組紹介】



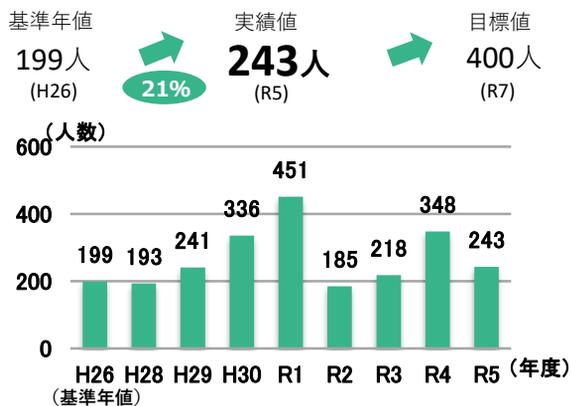
板橋区立エコポリスセンター
環境活動の拠点施設です



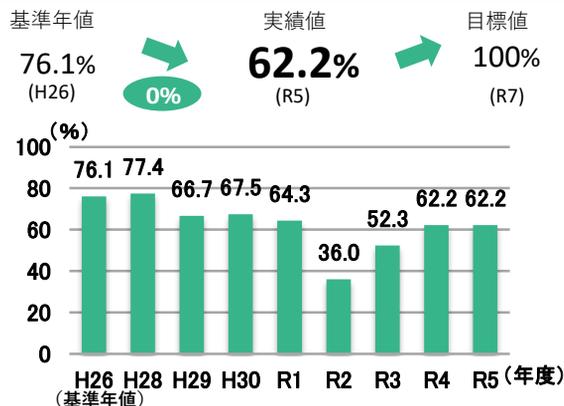
エコアクション9
地球温暖化防止のためにエコアクション9を実践しましょう



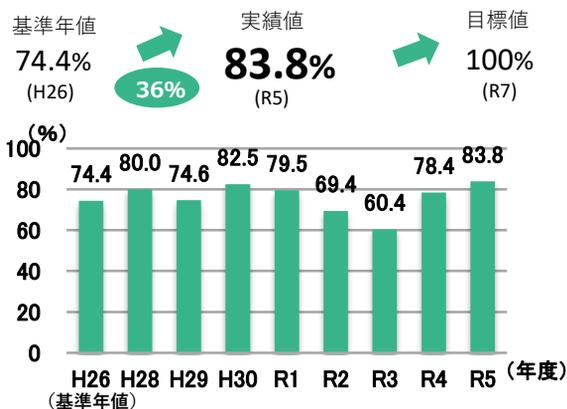
人材育成に関わる環境講座参加者数



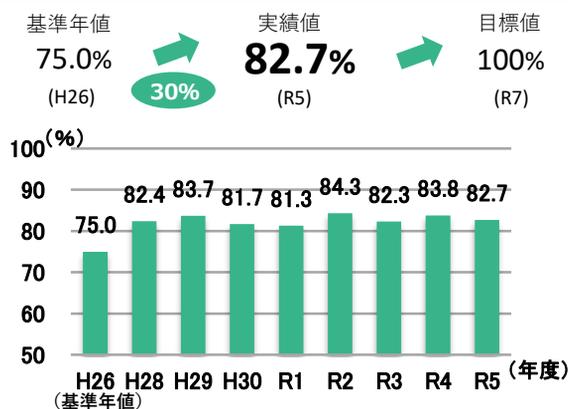
外部人材を活用した環境学習実施(校園)の割合



環境教育プログラム利用(校園)の割合



エコ生活(エコアクション9)の実施状況



基本目標6 パートナーシップが支えるまちの実現



区民団体（環境活動団体など）と区の協働をはじめ、町会・自治会、商店街、企業、大学など、多様な主体との連携・協働により、様々な環境保全活動を推進しています。

これらの活動も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種キャンペーンへの参加者やエコポリスセンター事業へのボランティア参加者数、環境学習講師派遣人数は2020（令和2）年度～2021（令和3）年度に一時落ち込んだものの、徐々に復調傾向にあります。一方で、環境登録団体は減少が続き、団体のすそ野を広げることが課題となっています。

今後は、環境教育・環境活動を広める機会を充実させ、若い世代や環境活動の新たな担い手へのアプローチを強化し、環境教育・環境活動のネットワークづくりを進めていきます。

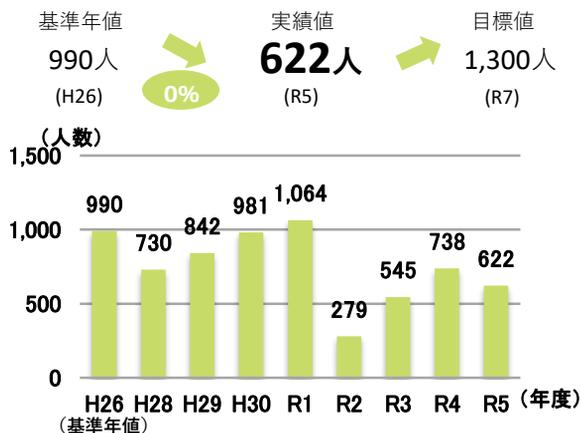
【区の実践紹介】



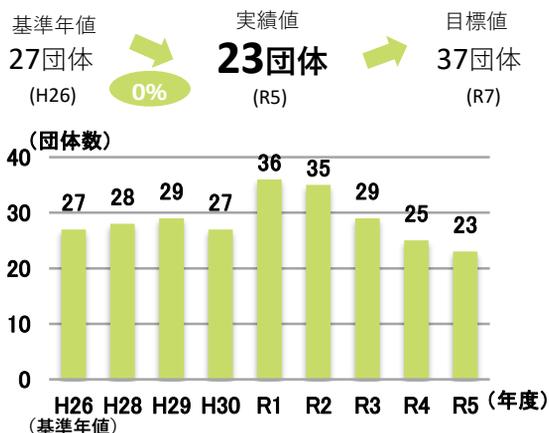
板橋クリーン作戦
多様な団体が地域の美化活動を実践しています



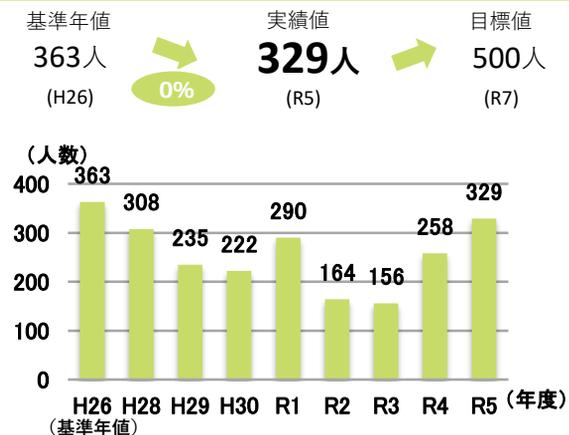
エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数



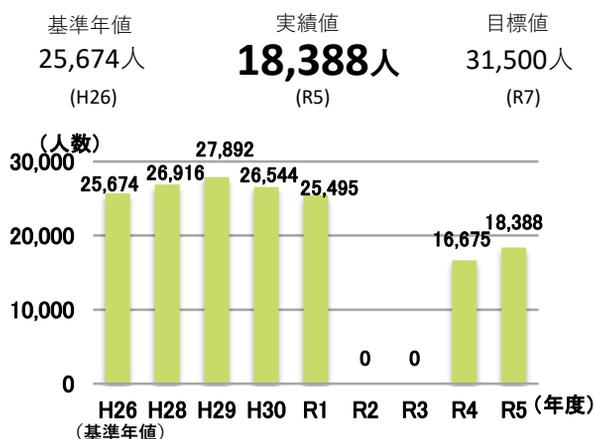
環境登録団体数



環境学習講師派遣人数



全区民参加型環境保全キャンペーン参加者数



板橋区の環境の現状や取組の詳細は、「板橋区環境白書（本編）」に掲載しています。



板橋区環境白書（概要版）は古紙パルプ配合率80%以上再生紙を使用しています

板橋区役所資源環境部環境政策課
東京都板橋区板橋二丁目66番1号
電話 03-3579-2591
F A X 03-3579-2249